

社会資本総合整備計画書  
(豊田市)

平成30年 3月16日

計画の名称	63 魅力的なコンパクトシティを形成する、道路ネットワークの整備（防災・安全）						重点計画の該当	○				
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）			交付対象	豊田市							
計画の目標	<p>【魅力的なコンパクトシティを実現する安心・安全の道路整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊田市の社会動態の特徴である、概ね25歳～40歳の”子育て世代”の市外流出を抑止するため、鉄道駅を中心とした生活拠点における土地区画整理事業を推進するとともに、関連する都市施設を一体的に整備することにより、活力ある都市として持続的な発展を目指す。</li> <li>鉄道駅を中心とした市街地整備事業に合わせ、安心・安全な道路を整備することにより、魅力的で活力あるコンパクトシティの実現を目指す。</li> </ul>											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画整理区域内の居住人口を、3,055人（現況値）から4,094人（H33）に増加</li> <li>事業施行中の拠点市街地における安心・安全生活カバー率を42%（現況値）から94%（H33）に拡大</li> </ul>											
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値	備考				
							当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)			
	区画整理区域内における居住人口を調査する。						3,055人	3,325人	4,094人			
	災害等に対して備えのできた安心・安全生活エリア（整備された幅員6m以上の道路端から一定距離のエリア）を調査し、事業施行面積の合計に占める割合を調査する。【安心・安全生活カバー率 = 安心・安全生活エリア / 事業施行面積】						42%	84%	94%			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,341 百万円	A	4,341 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C)	0.00 %

交付対象事業

A1 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
A-1	街路	一般	豊田市	直接	豊田市	豊田寺部地区（都）豊田則定線外	道路改築 無電柱化 L=997m	豊田市						1,672			
A-2	街路	一般	豊田市	直接	豊田市	(都)花園八橋線	道路改築 L=740m	豊田市						90			
A-3	街路	一般	豊田市	直接	豊田市	豊田花園地区（都）八橋駅前線外	道路改築 L=300m、駅前広場整備	豊田市						1,112			
A-4	街路	一般	豊田市	直接	豊田市	豊田土橋地区（都）土橋竜神線外	道路改築 L=2,100m、駅前広場整備	豊田市						1,467			
合計														4,341			

B 関連社会資本整備事業（対象事業なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計														0			

C 効果促進事業（対象事業なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31	H32	H33		
合計														0	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（対象事業なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31	H32	H33		
合計														0	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	754				
計画別流用増△減額 (b)	22				
交付額 (c = a + b)	776				
前年度からの繰越金 (d)	0				
支払済額 (e)	626				
翌年度繰越金 (f)	149				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c + d - e - f)	0				
未契約繰越額 + 不用額 (h = (g + h) / (c + d))	0				
未契約繰越 + 不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成29年度以降の各年度の決算額を記載。

# 市街地整備

計画の名称	63 魅力的なコンパクトシティを形成する、道路ネットワークの整備（防災・安全）	交付対象	豊田市
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）		

